

別紙

謝罪放送目録

令和4年9月1日に放送しました「当番組」内で、コメンテーターとして出演した **B** 弁護士が、旧統一教会について、「この教団がやっている外形的な犯罪行為等をですね」などと発言しました。しかしながら、旧統一教会が犯罪行為等を現に行い、過去に行ったという事実はなく、これらは同教会の社会的評価を著しく低下させる名誉毀損発言でした。当番組としまして、この発言によって名誉を毀損された旧統一教会・世界平和統一家庭連合に対して深くお詫び申し上げます。今後、当番組において、二度とこのような名誉毀損発言がされることがないように気をつけて参ります。

別紙

謝罪広告目録

1 記載要領

(1)掲載ページ：弁護士 **B** 紹介ページ

(<http://> **D**)

(2)文字：文字の大きさは12ポイント以上（ただし、「謝罪文」題目については14ポイント以上）、文字フォントはゴシック体、文字の色は赤

(3)体裁：2の謝罪広告文を赤字の四角で囲む

2 謝罪広告文

謝 罪 文

世界平和統一家庭連合（旧統一教会）様

当職は、令和4年9月1日放送の「 **A** 」にコメンテーターとしてテレビ出演した際、世界平和統一家庭連合（旧統一教会）について、「この教団がやっている外形的な犯罪行為等をですね」などと発言しました。しかしながら、世界平和統一家庭連合が犯罪行為等を現に行い、過去に行ったという事実はなく、上記は同連合の社会的評価を著しく低下させる名誉毀損発言でしたので、上記発言をここに撤回いたします。

当職の発言によって名誉を著しく毀損された世界平和統一家庭連合に対し、深くお詫び申し上げます。

弁護士 **B**

「信教の自由ということを大上段に振りかかったら、調査もだめですし、自ら点検することも僕はだめだと思います。まずは点検して、それを公表を求めるわけですから。」

(司会者の「もう一緒だと、そうなったら。」との発言を受けて)「一緒です。ですから、その信教の自由の問題ではないということを、まず自民党の方々に理解していただくのがこのスタートであって、これは数々の消費者被害を生んだ、カルト団体であって、思想の根底に反日的な思想を持っているあの組織の問題だということ、誰もこの統一教会の教義そのものを点検しようなんて話はしてないんですよ。ですから、教義が、内容云々で、それをその思想内容を調査しようとしているのではなく、この教団がやっている外形的な犯罪行為等をですね、そういうことに着目しているわけです。反セクト法、反カルト法も正にそういう意味、部分で、外形に着目して信教のその内心の教義ということは問題にしないっていうこと、だからこそ許されているわけです、フランスでも。ですから、その部分は、やはり信教の自由に逃げてしまうということになると、ちょっとそれは違うんじゃないかなっていうふうに、僕には見えてしまいますね。」